

中学1年生が「高志学」外部講師リレー講座③を行いました

令和5年12月14日（木）に、1年生が本校若葉食堂で外部講師リレー講座③を行いました。

株式会社日本ピーエスの月東宏之先生、中谷光希先生、角田彩音先生と日華化学株式会社の出倉沙也先生、白川さとみ先生をお招きしてご講演いただきました。

日本ピーエスの講座では、PC（プレストレストコンクリート）橋というコンクリート内部に圧縮材を入れることで強度が増す仕組みを教わり、実際にモデルを体験することもできました。現象に対して「なぜ、こうなるのか」を考えるくせをつけること、好き嫌いをせずにひとまず触れてみることで自分の興味に気づくことの大切さを教わりました。

日華化学の講座では、暮らしの様々な分野に生かされているニッチな領域に活用された商品が紹介され、基礎研究から商品開発、品質試験を経て商品化される流れが分かりました。また、企業として社会的な課題について配慮する必要性も教えていただき、二酸化炭素を吸収するサトウキビを原料に使うことや木をむやみに伐採しないSFC認証についても学びました。



[生徒の感想]

- ・今までは、どの橋もコンクリートでできていて強度も同じだと思っていましたが、PC 鋼材を入れることで壊れにくくなることがおもしろかったです。
- ・土木という辛い仕事のイメージに対して、新3K（給料、休日、希望）を目指しているときいて興味がわきました。今度、工事現場を見つけたらどんな作業をしているか注目したいです。
- ・今まで、全く重さが違う液体同士がどうして混ざるのか不思議だったけれど、界面活性剤を使うことで、一方を包むように混ぜ合わされることが分かった。
- ・商品開発の際、3年間の品質保証をするために45℃で3ヶ月様子を見ることで同じ耐久性を保証できる工夫があることがおもしろかった。